

## 【第1号】平成30年度 事業報告について

### 平成30年度事業報告

#### 1 総会・専門部会の開催

##### (1) 総会

大分県医療ロボット・機器産業協議会の事業計画等を会員へ報告するため総会を開催した。

開催日：平成30年6月13日（水）15：00～15：30

場 所：レンブラントホテル大分

##### (2) 看護関連機器開発部会

「我慢させない看護」の実現に向けて看護関連機器開発を促進するため、看護関連機器開発部会（部会長：大分県立看護科学大学 影山教授）を開催するとともに、関連事業を実施した。

##### ●部会の開催

看護関連機器開発部会の事業計画及び部会委員による看護関連機器開発を報告するため、部会を開催した。

開催日：平成30年9月25日（火）14：00～15：00

場 所：全労済ソレイユ

##### ●看護とものづくり連携セミナー

看護関連機器開発に向けた機運醸成のため、看護機器の開発事例紹介や看医工連携によるものづくり等に関するセミナーを開催した。

開催日：平成30年9月25日（火）15：10～17：00

場 所：全労済ソレイユ

参加者：約30名

概 要：

講演Ⅰ 「おもてなしの心から生まれたものづくり

～福祉理美容の現場から～

有限会社ビューティフルライフ 代表取締役 田中 晃一 氏

講演Ⅱ 「看護学・医学・工学の連携によるものづくり」

佐賀大学 大学院 医学系研究科 准教授 松尾 清美 氏

##### (3) 介護・福祉関連機器開発部会

東九州メディカルバレー構想の更なる推進に向けて、県内の産学官が連携した高齢者や障がい者の自立支援及び介護現場の生産性向上に貢献する機器開発を促進するため、介護・福祉関連機器開発部会（部会長：大分大学理工学部 今戸教授）を開催するとともに、関連事業を実施した。

## ●部会の開催

介護・福祉関連機器開発部会の事業計画及び部会委員による介護・福祉関連機器開発を報告するため、部会を開催した。

開催日：平成31年1月15日（火）15：00～16：30

場 所：大分県社会福祉介護研修センター

## ●介護・福祉関連機器開発部会 特別講演

介護・福祉関連機器開発に向けた機運醸成のため、福祉用具開発における留意点等に関するセミナーを開催した。

開催日：平成31年1月15日（火）13：30～14：40

場 所：大分県社会福祉介護研修センター

参加者：約50名

概 要：

講演Ⅰ 「福祉用具開発に何を期待するのか

～福祉用具開発で注意すべき点～

公益財団法人テクノエイド協会 調査監 寺光 鉄雄 氏

## 2 医療関連産業新規参入促進セミナー等

### (1) 医療関連産業新規参入促進セミナー

医療機器産業への新規参入事例や法規制に係る人材育成のため、医療関連産業参入促進セミナーを開催した。

## ●医療関連産業参入促進セミナー（第1回）

シリコンバレー流の医療機器開発の手法や会員企業による参入事例についてセミナーを開催した。

開催日：平成30年6月13日（水）15：40～18：40

場 所：レンブラントホテル大分

参加者：約160名

概 要：

講演Ⅰ 「新規参入を目指す中小企業によるシリコンバレー流

バイオデザインの活用法」

スタンフォード大学医学部 循環器科 主任研究員 池野 文昭 氏

講演Ⅱ 県内企業による医療関連機器の研究開発事例

「車いす用足こぎユニット「こいじゃる！」の開発について」

株式会社AKシステム 企画開発室長 徳永 英治 氏

## ●看護とものづくり連携セミナー（第2回）（再掲）

看護関連機器開発に向けた機運醸成のため、看護機器の開発事例紹介や看医工連携によるものづくり等に関するセミナーを開催した。

開催日：平成30年9月25日（火）15：10～17：00

場 所：全労済ソレイユ

●介護・福祉関連機器開発部会 特別講演（第3回）（再掲）

介護・福祉関連機器開発に向けた機運醸成のため、福祉用具開発における留意点等に関するセミナーを開催した。

開催日：平成31年1月15日（火）13：30～14：40

場 所：大分県社会福祉介護研修センター

●医療関連産業新規参入促進セミナー（第4回）

東九州メディカルバレー構想推進大会の開催に併せて、参入促進セミナーを開催した。

●医療機器開発関連トップセミナー（第5回）

滅菌装置など医療機器のリモートメンテナンスに係るセミナーを開催。

開催日：平成31年3月25日（月）15：00～17：00

場 所：大分銀行 宗麟館

参加者：約60名

概 要：

講演Ⅰ 「医療用IoT機器のセキュリティとリモートメンテナンス」

東京電機大学 総合研究所特命教授

・サイバーセキュリティ研究所長 佐々木 良一 氏

講演Ⅱ 「病院と連携してのIoT技術を活用した滅菌装置リモートメンテナンスサブ研究グループ活動」

東京電機大学 研究推進社会連携センター

特別専任教授 大嶋 清治 氏

（2）東九州メディカルバレー構想推進大会

東九州メディカルバレー構想の具体化を図ることにより、産業の集積と地域の活性化を一層推進するため、東九州メディカルバレー構想推進会議

・大分大学と共催で構想推進大会を開催した。

開催日：平成31年2月12日（火）14：30～19：30

場 所：レンブラントホテル大分

参加者：約230名

概 要：

第1部 基調講演

「新生キヤノンメディカルシステムズの事業戦略

～画像診断システムの進化と今後の展開～」

キヤノンメディカルシステムズ株式会社

取締役専務 信太 泰雄 氏

「経済産業省における医療機器・ヘルスケア産業政策について」

経済産業省 ヘルスケア産業課 医療・福祉機器産業室長

富原 早夏 氏

## 第2部 医療機器産業新規参入促進セミナー

「医療機器新規参入で当社が学んだ成功と失敗の要因」

株式会社スズキプレシオン 取締役会長 鈴木 庸介 氏

### 3 医療・福祉機器等機器開発ワーキング

#### (1) ニーズ探索会

会員企業の新規の機器開発案件を探すため、医療機関と連携してニーズ探索会を実施した。

- ・大分大学医療機器ニーズ探索交流会（第1回）

開催日：平成30年7月5日（木） 13：30～19：00

場 所：大分大学医学部附属病院

参加者：138名

概 要：医療現場等からのニーズ発表（産科婦人科、歯科口腔外科、皮膚科形成外科）、病院施設見学会・セミナー・個別相談会、意見交換・名刺交換会

- ・大分大学医療機器ニーズ探索交流会（第2回）

開催日：平成30年11月30日（金） 13：30～19：00

場 所：大分大学医学部附属病院

参加者：117名

概 要：医療現場等からのニーズ発表（脳神経外科、腫瘍・血液内科、眼科）、病院施設見学会・セミナー・個別相談会、意見交換・名刺交換会

#### (2) 医療関連機器開発ビジネスマッチング会

九州ヘルスケア産業推進協議会、福岡県・宮崎県との連携の下、大分大学医療機器ニーズ探索交流会の開催に併せて、医療機器メーカーと県内ものづくり企業とのマッチング会を開催した。

- ・医療関連機器開発ビジネスマッチング会

開催日：平成30年7月6日（金） 10：00～15：00

場 所：大分銀行宗麟館 5階 多目的ホール ほか

参加者：54名（うち医療機器メーカー6社）

概 要：医療機器メーカーからの講演（ルミノフ(株)）、医療機器メーカーと参加企業の商談会

**(3) 臨床ニーズブラッシュアップ会議**

医療機関等から発信されたニーズについて医療機器開発の有識者による臨床ニーズブラッシュアップを行い、ニーズの妥当性や市場性等の検証・評価を実施した。

**(4) 医療機器規格等取得支援補助事業**

医療・福祉機器の開発を促進するため、会員企業による医療機器メーカーへの部品供給等に条件となるISO13485、CEマーキング等の認証申請に向けた活動を支援し、必要な費用に対する助成を行った。

○(株) キューメイ研究所：ISO13485取得支援補助

**(5) 機器開発ワーキンググループ**

開発ニーズと会員企業とのマッチング率を向上させるため、ニーズを元に機器開発を行うワーキンググループの活動を支援し、必要な費用に対する助成を行った。

○支援グループ数：6グループ

**(6) 医療機器開発人材育成支援事業**

県内での医療機器開発を促進するため、医療機器の研究開発や事業化、法規制等に関する研修会やセミナー等の開催や運営を支援し、MD I C認定取得に要する費用の一部を助成を行った。

○大分紙業(株)：MD I C認定取得支援補助

#### 4 研究開発補助事業

##### (1) 現場ニーズ試作品開発補助事業

事業化有望な現場ニーズについて研究開発や事業化を目指す会員企業が  
行う医療関連機器の試作品開発に要する経費に対し助成を行った。

No.	企業名	テーマ名
1	トクソー技研(株)	寝たきり患者等のベッド上で測定可能な体重計の開発
2	中央発条工業(株)	ソフトで耐久性に優れた国内産の聴診器の開発
3	(株)ラムダシステム	I o T対応介護支援システム「ひまわり」の試作品開発
4	(株)AKシステム	足漕ぎ用車いすユニット「こいじやる！」のリハビリテーション活用機能開発
5	日本ヒューマンメディク(株)	左右兼用可能な手関節外固定サポーターの開発

##### (2) 医工連携研究開発推進補助事業

大学、医療機関及び県外企業等と連携した会員企業の新たな医療関連機器等の研究開発に要する経費に対し助成を行った。

No.	企業名	テーマ名
1	シェルエレクトロニクス(株)	排泄支援装置の個人向け製品の開発、マイクロマシンによる栄養チューブ洗浄装置の開発
2	(株)トライテック	ハイブリッド型内視鏡洗浄カバーの改良
3	(株)デンケン	排尿障害における可搬型磁気刺激装置の開発と臨床研究プロトコルの作成
4	(株)AKシステム	ハンディ型薬剤調整アシスト装置の事業化に向けた品質向上開発
5	大分紙業(株)	ペルチェ素子を用いた皮膚冷却器による穿刺痛緩和装置の開発
6	(株)スカイテクノロジー	ME機器のアラーム音検出に係る研究開発
7	(株)ホックス	パルスオキシメータ実用化に向けた臨床試験

## 5 専門家派遣事業

### (1) 大分県医療機器開発アドバイザー派遣

機器開発から販路開拓までの各分野の専門家をアドバイザーとして委嘱し、会員企業の参入ステージに応じたアドバイザーを派遣し、医療機器産業への参入をハンズオン支援を行った。

- 池田 喜一 氏 (元(独)産業技術総合研究所産学官連携推進部門コーディネータ)
- 吉田 安幸 氏 (元旭化成(株)専務取締役)

### (2) 専門家派遣

医薬品医療機器等法に係る専門家(コンサルタント)を派遣又は相談会を開催し、薬事に関する法規制等への対応を支援した。

#### 【派遣した専門家】

#### (1) 医療機器開発・ビジネス支援

株式会社メディカルラボパートナーズ 代表取締役 清水 美雪 氏

#### (2) 医療機器開発・ビジネス支援

合同会社コンピエーレ 代表取締役社長 麻坂 美智子 氏

#### (3) 医療機器開発・ビジネス・海外展開支援

スタンフォード大学医学部 循環器科 主任研究員 池野 文昭 氏

## 6 販路開拓・拡大事業

### (1) おおいた産医療関連機器導入推進補助事業

医療・福祉機関が会員中小企業の新製品等を導入する経費に対し助成を行った。

対象者：県内の医療・福祉施設 延べ20機関

登録機器：23機種

### (2) 展示・商談会等

東九州メディカルバレー構想の情報発信や会員企業の新製品の販路開拓のため、宮崎県・HAMIQ等と連携し、展示会・商談会等に参加した。

#### 【HAMIQ等との連携事業】

#### ○第13回アジアメディカルショー

会期：平成30年6月22日(金)～23日(土)

場所：福岡国際会議場

出展企業：(株)AKシステム、(株)エイビス、(有)大分サーバー、  
(株)キューメイ研究所、(株)デンケン、トクソー技研(株)、  
日本ヒューマンメディク(株)、(有)ビューティフルライフ、  
(株)ブライテック

○第45回国際福祉機器展 H. C. R 2018

会期：平成30年10月10日（水）～12日（金）

場所：東京国際展示場「東京ビッグサイト」

出展企業：(株)AKシステム、(株)エイビス、(有)大分サーバー、  
シェルエレクトロニクス(株)、(有)ビューティフルライフ、  
(株)ブライテック

【単独展示等】

○第36回大分県病院学会

会期：平成30年11月18日（日）

場所：別府国際コンベンションセンター ビーコンプラザ

出展企業：(株)AKシステム、(株)エイビス、(株)デンケン、  
(有)ビューティフルライフ、ヘルメット潜水(株)

○第8回日本ロボットリハビリテーション・ケア研究大会in大分  
第5回大分県医療介護ロボ・HAL研究大会

会期：平成30年10月6日（土）～7日（日）

場所：ホルトホール

製品紹介：(株)AKシステム、(株)エイビス、シェルエレクトロニクス(株)、(株)デンケン、ヘルメット潜水(株)

○平成30年度看護職能連携強化交流会

会期：平成30年12月1日（土）

場所：大分県看護研修会館

出展企業：(有)ビューティフルライフ、ヘルメット潜水(株)

○第22回大分県作業療法学会

会期：平成31年1月20日（日）

場所：大分県看護研修会館

出展企業：(株)AKシステム、シェルエレクトロニクス(株)、  
ヘルメット潜水(株)

など



### (3) 販路開拓支援事業

県内企業が開発した新機器等の販路開拓のため、展示会等への出展料等に対し助成を行った。

No.	企業名	出展展示会
1	(株)キューメイ研究所	MEDICAL FAIR ASIA (シンガポール)
2	(株)ブライテック	第45回国際福祉機器展
3	(株)AKシステム	第20回西日本国際福祉機器展
4	(株)トライテック	第31回日本内視鏡外科学会
5	(有)大分サーバー	新ものづくり・新サービス展2018

### (4) おおいた産医療・介護商品カタログ

県内企業が開発した機器等の販路開拓のため、医療・介護商品カタログを製作し、医療機関・福祉施設等へ送付を行うとともに、展示会等において配布を行った。

## 7 コーディネータの配置

### (1) コーディネータ配置

会員企業の医療関連機器産業への新規参入をワンストップで支援する体制を強化するため、会員企業による機器開発から販路開拓まで伴走し、フォローするコーディネータ（1名）を雇用し支援を行った。

## 8 HALF IT ツーリズム推進事業

### (1) HALF IT® ツーリズム海外展開支援事業

HALF IT® ツーリズムを海外の医療関係者に周知を図るため、関係機関に事業PRを行うとともにWebを用いた情報発信を行った。

## その他

- 大分大学医学部臨床医工学センターが実施する「国産医療機器創出促進基盤整備等事業」や大分県医療介護ロボ・HAL®研究会、一般社団法人九州先端リハビリテーション・ケアクラスター推進機構等関係団体との連携を行った。
- 「医療関連機器ビジネスマッチング会」の開催にあたっては、宮崎県や福岡県等と連携して実施した。

【第2号】平成30年度収支決算について

平成30年度収支決算

自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日

1 収入の部

(単位:円)

科 目	当初予算額 ①	決算額 ②	差引額 ②-①	備 考
1 負担金収入	40,055,000	37,055,000	△ 3,000,000	県負担金の減
2 雑 収 入	0	222	222	
当期収入合計	40,055,000	37,055,222	△ 2,999,778	
前期繰越金	9,626,733	9,626,733	0	
収入総合計(A)	49,681,733	46,681,955	△ 2,999,778	

2 支出の部

(単位:円)

科 目	当初予算額 ①	決算額 ②	差引額 ②-①	備 考
1 協議会運営	408,184	303,189	△ 104,995	
旅費	126,000	31,880	△ 94,120	
食糧費	3,000	31,412	28,412	
その他需用費	60,000	51,170	△ 8,830	
役務費	60,000	80,191	20,191	
使用料及び賃借料	59,184	28,024	△ 31,160	
負担金	100,000	80,512	△ 19,488	
2 医療産業参入促進セミナー等	2,192,292	2,649,765	457,473	
報償費	300,000	291,348	△ 8,652	
旅費	300,000	383,208	83,208	
食糧費	200,000	580,927	380,927	総会・推進大会での来賓・交流会参加者増加による増
その他需用費	235,220	281,805	46,585	
役務費	0	89,229	89,229	
使用料及び賃借料	657,072	522,384	△ 134,688	セミナー会場使用料の節減
負担金	500,000	500,864	864	
3 医療・福祉機器等機器開発ワーキング	8,004,040	3,762,954	△ 4,241,086	
報償費	588,000	261,296	△ 326,704	臨床ニーズブラッシュアップ会議共催による減
旅費	422,400	175,712	△ 246,688	"
委託料	3,000,000	2,511,133	△ 488,867	ビジネスマッチング会の開催回数減少による減
その他需用費	34,900	0	△ 34,900	
使用料及び賃借料	158,740	44,836	△ 113,904	セミナー会場使用料の節減
食糧費	0	32,674	32,674	
役務費	0	1,000	1,000	
補助金	3,600,000	725,195	△ 2,874,805	医療関連規格取得支援事業費補助金の実績減
負担金	200,000	11,108	△ 188,892	MDIC認定取得支援事業の実績減
4 研究開発補助事業	24,019,200	19,689,613	△ 4,329,587	
報償費	16,600	25,872	9,272	
旅費	2,600	3,460	860	
食糧費	0	1,308	1,308	
役務費	0	2,228	2,228	
補助金	24,000,000	19,656,745	△ 4,343,255	研究開発補助金等の実績減
5 専門家派遣事業	648,000	431,150	△ 216,850	
報償費	400,000	236,944	△ 163,056	コーディネータ採用に伴う専門家派遣件数の実績減
旅費	248,000	116,152	△ 131,848	"
使用料及び賃借料	0	78,054	78,054	
6 販路開拓・拡大事業	10,250,005	6,459,201	△ 3,790,804	
委託料	0	81,135	81,135	
その他需用費	200,000	844,819	644,819	医療・介護商品カタログ製作・おおいた産機器PRIによる増
使用料及び賃借料	400,248	548,880	148,632	アジアメディカルショー出展による増
食糧費	0	47,423	47,423	
役務費	0	284,153	284,153	医療・介護商品カタログ・おおいた産機器PRIによる増
補助金	9,400,000	4,247,143	△ 5,152,857	おおいた産医療関連機器導入推進補助事業補助金の実績減
負担金	249,757	405,648	155,891	H.C.R.2018国際福祉機器展ブース追加による増
7 コーディネータ配置事業	4,160,012	4,291,908	131,896	
給料	2,880,000	2,621,331	△ 258,669	コーディネータ経費の実績減
職員手当等	240,000	40,920	△ 199,080	コーディネータ経費(通勤費用弁償)の実績減
共済費	498,012	444,463	△ 53,549	
旅費	218,000	195,290	△ 22,710	
使用料及び賃借料	324,000	989,904	665,904	コーディネータ採用によるレンタカー使用増加による増
当期支出合計(B)	49,681,733	37,587,780	△ 12,093,953	
当期支出差額(A)-(B)	0	9,094,175	9,094,175	